



造林シリーズ【その4】

間伐は3月頃までが適期

林が更に生長すると植栽樹木のスギやヒノキどうしが競争し合うようになります。そして、混みすぎているとふとることができず、細い木ばかりでひょろひょろした林になってしまいます。間伐はこのような状態にならないよう行う作業です。一般に間伐は除伐が終って林の形ができてからはじめます。そして、最後の収穫である主伐までの間に何回か行います。例えば、1畝に「ヒノキ、

4.000本を植付け20年後は2.800本に30年後は1.500本にというように本数を減らしていきます。本数の減らし方によって、いろいろな形の木材が作れるのですが、その選木の方法が熟練しないとなかなか困難で、どの程度に伐採してよいか目標がつかみにくいものです。そんなときは林業試験場でつくった「間伐指針表」を目安にしてください。

③ 風通しが良くなり、病虫害の発生を防止できる。

以上が、その主なもので、山林所有者の利益のみでなく、森林の活力が大きくなることは公益的機能を高め、関係住民全体に有形無形の利益をもたらすこととなります。また、間伐した木は売れますので、林業家がまとめて上手に利用すれば早い時期に相当の収入を上げることができ、林業経営を非常に有利にします

なお、間伐の手入れや労力、技術等の面で実施できないという人がありましたら下記へ問合せください。

市役所経済部林政課

電話 51-0123 内線 412

間伐木で中間収入を！

市内の森林の60%は、すでに間伐を必要とする15年生～30年生位の林です。ということは、林業家のみなさんの林の半分以上は間伐をするのが望ましいといえます。これから3月頃までが間伐の適期で、下草がほとんど出ていない林は早急に間伐しなければなりません。この冬は、みんなで間伐を行って健全な林を仕立てて早くふとらせ、より収穫を上げるよう心がけたいものです。ここで間伐を上手にやって、健全で活力ある森林が造成された場合の効果について触れて見ますと一

① 個々の木が玉揃良く成長し、良質材が生産される。

② 森林が整然と配置されるため、下草が適当に茂り表土の流出を防ぐことができ、大雨による山崩の防止等災害の予防に役立つ。

間伐指針表 (1ヘクタール当り)

林令	スギ			ヒノキ		
	上	中	下	上	中	下
15年	2.000本	2.500本	3.000本	2.700本	3.300本	4.000本
20年	1.500	1.800	2.300	1.800	2.200	2.800
25年	1.200	1.400	1.800	1.200	1.500	2.000
30年	1.000	1.150	1.500	900	1.150	1.500
35年	850	1.050	1.300	800	1.000	1.300
40年	750	950	1.200	700	900	1.150
50年	650	850	1.050	600	750	1.000
60年	600	800	1.000	550	700	900

2月の



2月6日

外科 宮下医院 (平垣 61-0376)
 芦川病院 (中央町2 52-2480)
 産婦人科 遠藤医院 (吉原3 52-1941)

2月11日

外科 戸田医院 (横割1 63-5213)
 渡辺病院 (錦町1 51-3751)
 産婦人科 武田医院 (西宮島63-5122)

2月13日

外科 中央病院 (本市場 61-8800)
 秋山医院 (富士岡 34-0075)
 産婦人科 池谷医院 (水戸島本町 61-0873)

2月20日

外科 神谷医院 (川成島 61-5900)
 米山医院 (今泉1 52-0275)
 産婦人科 望月医院 (西比奈34-0445)

2月27日

外科 川村医院 (富士中島 61-4050)
 米山病院 (吉原4 52-3060)
 産婦人科 中央病院 (本市場61-8800)

※内科、小児科は「医療センター」